

100年前の伊藤千代子たちが訴えた『反戦・平和と国民主権』
今こそ「治安維持法体制を清算」して憲法を生かす政治を！

2022年6月1日からの
国会請願国賠署名、同盟員拡大到達表 2022.8.1現在

支 部	国賠署名		同盟拡大	
	目 標	到 達	目 標	到 達
岡 山	7,000	896	200	231
備 南	2,500	33	80	54
美 作	800	5	50	33
玉 野	700		20	20
県 計	10,000	934	350	339



岡山県版
No. 316
2022年8月15日
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
岡山県本部
〒710-0131
倉敷市天城台
4・7-12 福井方
振替 01300-4-99361
mail : family-fukui@
khf.biglobe.ne.jp

暑中お見舞い申し上げます。
7月の参院選で日本共産党と民主勢力は「今こそ9条を生かす外交を」「何よりも反戦平和・自由そして国民の命と暮らしをまもれ」と訴えました。野党共闘は最後に課題を残しましたが、大激戦の東京選挙区で山添拓候補の勝利、オール沖縄でも勝利しました。残念ながら自民、公明、維新、国民など改憲容認勢力が2/3議席を超える結果となりました。
自民党、公明党は得票を減らしましたが岸田総理は選挙直後のテレビ番組で憲法改正をできるだけ早く発議すると述べています。
安倍元総理の銃撃事件は政権と反社会的な力ルト反共集団の關係



が重大な課題となって浮上してきました。
しかし岸田自公政権は国民の意見に耳を傾けることなく、「国葬」を早々と閣議決定してしまいました。
「国葬」反対を共産党、れいわ、社民党が表明し、遅れて立憲民主党の泉代表も反対を表明しました。地方紙のアンケート調査では

七割が反対との報道が出ています。
戦争に反対し、九条を守るたたかいに取り組みましょう。
八・一五終戦記念日は元氣よく宣伝を行いましょ。
・「わが青春つきるとも一伊藤千代子の生涯」上映運動は五月と六月、県下八会場で上映し七二二名が観賞しました。
この取り組みで倉敷市は三名、笠岡市で一名、岡山市で六名、新見市で一名、真庭市で二名の新しい同盟員が増えました。
岡山医療生協労組はこの映画上映会を主催し、二名の同盟員を迎え、国賠署名を七二七筆集めました。
真庭市、新見市で上映実行委員会が立ち上がりました。この取り組みを支部結成に結び付けたいと思います。
県本部事務局長 前川 守

映画「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯 コムコム会館で上映会

一〇〇年前、権力に抗い、自分の心に正直に生き、女性の物語。伊藤千代子は二四歳の若さで治安維持法によって逮捕され、拷問、虐待、「変節強要」に屈せず獄死しました。この映画はこの時代を「反戦・平和」そして



「倉敷民商を支える会」総会に参加した。これで九回目。この事件は二〇一四年一月のこと。

「倉敷民商弾圧事件を勝利する」総会

倉敷民商を支える会「総会」総会で作成したスライドを視聴し、岡村弁護士、清水弁護士、榎屋さんたち三名を訴えや講演を聞いて「これは権力犯罪」という思いを強くもった。榎屋さんが逮捕された当初は「脱税正犯」。起訴の



時は「脱税補助」に。罪を認めないとして四二八日も勾留する。四二八日の獄中を闘った榎屋さんの訴えに治安維持法で獄中を闘った「原菊枝」の「女子党員獄中記」に書いていたことを

てジェンダー平等」を求め、闘った女性たちを描きます。この女性たちの闘いが現在につながっていることを実感し、労働組合運動を進めたいとおもいます。この上映会で「製作・上映」募金六八六九七円寄せられ、七月には七二七筆の国賠署名が集められました。ありがとうございます。

倉敷民商支える会「総会

岡山医療生協労組「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯 実行委員会 ニュースから引用

一五〇日を超えたロシアのウクライナ侵略に抗議するスタンディング行動 高梁市 内田みどり

定時定点の行動は一五〇日を超えました。この行動が一五〇日続いていることは戦争が一五〇日続いていることです。本当は数えたくない。勝手連の行動ながら続いています。今日は「行ける」と思えば立ちます。この行動をするようになって、身近な人や家、街を失い、

思った。今の拘留所も一〇〇年前と変わらない。有罪判決を出した岡山地裁の江見裁判長は強制捜索をした国税査察官の「報告書」をその証拠とした。そして判決当日に四〇人もの制服警官を法廷にいれ、傍聴者を威圧した。

ところが二〇一八年の広島高裁岡山支部は地裁判決の「破棄・差し戻し」を決定し、裁判は振り出しに。そして四年が経過。公判の日程は決まらず、それぞれ検察は「なぜ起訴したか」という「立証計画」を今だに出せない。逆に

岸田自公政権は銃撃に倒れた安倍元総理の「国葬」を強行して「戦争をする国」へ突き進んだ安倍政治を賞賛しようという。倉敷民商弾圧事件は「戦争と暗黒の時代を再現」しようというこの企ての中にある。

(福井正樹)

女性部 伊藤千代子の生涯「わが青春つきるとも」を觀賞して

伊藤千代子の時代一女性は選挙権もない。人権がない。安い労働力として長時間、過密労働を強いられる。一二三歳の少女が一日、一四時間以上働かされ、体を壊す。千代子が女工さんを励まし、闘いを呼びかける姿は一〇代の頃の私と重なる。

代用教員の千代子さん。弁当のない子供と弁当を分け合う優しい千代子さんは「弁天様」と子供が慕ったという。

「勉強したいのに学校にいけない」と悔しがる姪に千代子さんは「本当の勉強はこの社会の中にあるの」と諭す言葉にも同感した。

千代子さんは「反戦・平和」そして自由「民



安倍元総理銃撃とその死

参院選投票日の前々日、安倍元総理が銃撃され亡くなった。突然のことでびくくりしたが「森友」「加計」「桜を見る会」疑惑はすべて闇の中。

銃撃犯は安倍元総理が「旧統一教会」と深い結びつきを持った政治家と知り、「殺意を持った」と語っている。統一教会は韓国軍事情報のもとで生まれた「反共諜略集団」。「霊感商法」「集団結婚」など反社会的活動と右翼「勝共連合」として日本共産党攻撃に狂奔した団体。

映画「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯「上映会予定

- 岡山市北区内山下 県立図書館デジタル情報センター
八月二日(日) 2回上映 午前10時、午後一時。
 - 真庭市 真庭中央図書館映像シアター
一〇月八日(土) 2回上映 午後二時、午後五時。
 - 新見市 新見文化交流館まなび広場新見
十一月三日(日) 午後一時。
- 連絡先：笹井勇一 ☎〇九〇・一九一・四五五四九



「あべ政治は許せない」といい続けたい。

(池上尚美)

安倍元総理が敬愛してやまない祖父の岸信介氏が日本に呼びこみ、笹川良一、児玉誉士夫らと結託し、自民党の大物たちと結びついていた。今も多くの自民党国会議員とつながっている。

どんな理由があっても「テロ」は許されない。同時に「長期政権」であっても「外交で活躍」？したとしても法的根拠もなく、国会審議もなく「国葬」を閣議決定して強行することは許されない。安倍元総理の政治評価は国民の中では二分されている。それを国費で「国

小山博通さん追悼 今も小山博通さんの声が聞こえる

谷口洋子

小山博通さんの訃報は六月九日の朝、知りました。にわか信じがたいことでした。父を亡くした時よりもずっと衝撃的でした。私が天城高校に入学した時に小山さんは教師として赴任してきて、それ以来の五〇年にわたる縁です。

朝の通学時に、私たちの後ろから自転車に乗って「おはよう」と元気に声をかけて追い越していく青年教師の姿は憧れの存在でした。校庭で生徒に歌唱指導をしている小山先生のさわやかな歌声に私たちは「青春している」という思いを実感しました。

後から知ったことですが、当時、天城高校には県下でも屈指の民主的な教師集団があり、生徒の自主性を尊重し伸ばそうとする生き生きとした雰囲気がありました。卒業してからそのことをしみじみと思えます。

その後、一九八七年の県議選に小山博通さんが日本共産党公認で立候補すると聞き、びっくり。「大丈夫か

帰りの道で小山さんは「理論と民衆の実態は違うからなあ」と諭すようにいわれました。



な」と思いながら、「できるだけ応援を」と倉敷市内のあいさつ回りにも同行しました。小山さんはその時「日本共産党の議員候補になることを決意してから、体中の俗世の垢みたいなものが洗い流されたみたいでとてもすっきりして、さわやかなんだ」と話されました。当時、三〇歳代というもなかなか」と思いましたが七〇歳を過ぎた今、その心境がわかるような気がします。

それは直したほうがいい」と叱ってくれました。わたしには恩師というより恩親という方です。「九〇歳まで生きなきゃ」という言葉を信じていたのに。あの広い河の向こう岸で「もうちょっと頑張れよ。周囲の人から学ぶんだよ。みんなが育ててくれるんだよ」と手をふり、語っている声は今も聞こえるようです。

7月 事務局日誌

- 10日 参議院選挙投票日
- 13日 県本部役員会
- 14日 「不屈」印刷・発送作業
美作支部役員会
- 15日 「不屈」美作版発行
映画「わが青春つきるとも」岡山市実行委員会
- 16日 玉野支部役員会
- 19日 映画「わが青春つきるとも」新見市実行委員会
- 20日 岡山支部役員会
- 26日 岡山支部役員で岡山市内の民主団体要請行動
- 27日 倉敷民商を支える会総会

一観賞しての感想を紹介しませう。

伊藤千代子さん 24歳の命 悲しくでつらくて悔やんだのではとも思いました。とても強い女性。本当に強い女性。よいことをしてたたかれるのは間違っている。人を愛しても自分の気持ちは曲げない。とても感動、涙が止まらないお話でした。ありがとうございました。
(岡山市 女性)

理不尽な社会で「学ぶことで真実を知る」ことの大切さを思います。社会はいろいろな人の力が重なって矛盾のない方向に変えていくことができる。人生はたった一度。自分の人生は自分で決めてすすむもの。自分を自分が裏切らないことが大切です。日本国憲法をこれからも生かす政治を実現したい社会にしたいです。微力は無力ではないことを信じています。
(岡山市 女性)



日本は1925年頃（昭和初期）、絶対的天皇専制のもと、国民は天皇の臣民（天皇の家来）とされ、貧困と無権利の状態におかれました。支配体制を強める絶対的天皇専制政治は中国への侵略を本格化し、1925年に治安維持法を成立させ、共産主義者、社会主義者、労働組合、農民組合、知識文化人などを思想犯罪者として逮捕し、拷問を加えました。多くの青年たち治安維持法で命を落としました。伊藤千代子もそうした活動家の一人でした。この映画は伊藤千代子をはじめ、この厳しい時代に社会変革の志を持ち、必死に生きた女性たちの物語です。



○8月21日(日) 岡山市北区内山下
県立図書館デジタル情報シアター
・2回上映 午前10時～。
午後2時～。

○10月8日(土)
真庭市中央図書館映像シアター
・2回上映 午後2時～・午後5時～

○11月13日(日)
新見市 まなび広場にいみ
・午後2時～

映画「わが青春つきるとも」上映会岡山市実行委員会
連絡先：河井伸士 ☎090-4800-7814 FAX 08695-3- 0819

製作・上映協力券(1口1000円)をお求めください。